

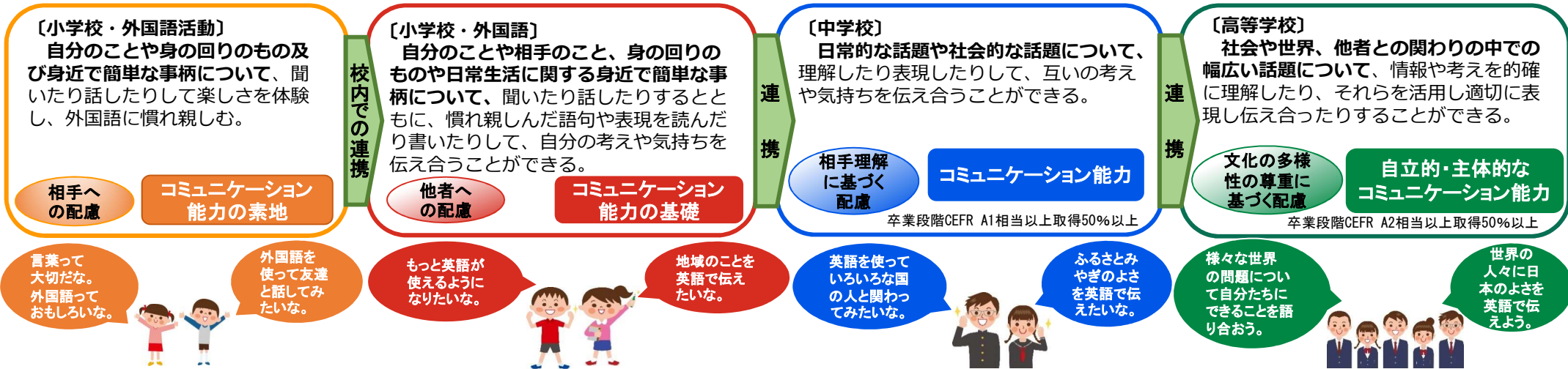
みやぎの英語教育推進計画 ～グローバル人材の育成に向けて～

【みやぎの英語教育が目指す児童生徒像】

- ・ふるさとを愛する心と日本人としての誇りをもったみやぎのこども
- ・文化の多様性を理解し、受け入れ、課題解決のために協働できるみやぎのこども
- ・英語を用いて自分の考えや気持ちを伝え合うことができるみやぎのこども



外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、コミュニケーションを図る(素地・基礎となる)資質・能力を育成する。



小学校

- 学級担任等が中心となった授業づくり
- コミュニケーションを行う目的・場面・状況を明確に示した言語活動
- 全校で取り組む体制づくり

小・中・高等学校共通

中学校・高等学校

- 「CAN-DOリストの形での学習到達目標」の活用
- 英語で行うことを基本とした授業の実施（生徒も教師も）
- ICT活用やスタディ・ログの活用

○「身に付けたい力」を明確にした単元づくり ○系統的な言語活動の設定と充実 ○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

○ALTの効果的な参画 ○ICTの効果的な活用 ○小・中・高等学校の連携の強化 ○パフォーマンステストを活用した評価の充実

* 系統的な年間指導計画の作成・連携 * 教材や指導法等の連携・共有 * 「CAN-DOリストの形での学習到達目標」の連携・共有

児童生徒への支援

- 意欲を高める外部試験の実施（英検IBA）
- 自主学習支援（Miyagi English Library）
- グローバル人材としての資質向上の機会の設定

宮城県教育委員会への支援

教員への支援

- 研修の充実
- 研修に関わる情報提供

CEFR B2 相当以上の取得教員
→中学校50%以上、高校75%以上を目標とする

学校への支援

- 市町村教育委員会を通じた情報提供及び中学校区における連携への支援
- 発信型英語教育拠点校・協力校への支援
- SSH（スーパーサイエンスハイスクール）校への支援
- 国際バカロレア認定校への支援